

【福井県永平寺町】 令和5年度 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業実施状況および効果検証シート

No	交付対象事業の名称	所管課 (令和5年度)	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	総事業費 (円)					事業 始期	事業 終期	効果検証 ①成果(具体的に数値を記載) ②検証(評価) ③課題、今後の方向性等
					補助対象 事業費 (円)	国庫 補助 (円)	交付金 (円)	その他 (円)			
10	プレミアム付デジタル商品券	商工観光課	①物価高騰が続いているなか、福井県のデジタル地域通貨事業を活用することでデジタルポイントを発行し、地域内の消費の下支えを実施する。 ②デジタルポイントの発行及び事務費 ③1口3,000円のチャージで5,000円分利用可能なデジタルポイント(プレミアム2,000円分)を付与。先着2万口。 事業費 2,000円×19,915口=39,830千円 事務費 手数料、運営費など 8,089千円 返還分 -876千円 合計45,613千円で充当対象総事業費は45,613千円 うち、重点交付金 44,708千円 一般財源 905千円 ④住民及び事業者	45,613,810	45,613,810	—	44,708,000	905,810	R6.1.26	R6.10.30	①プレミアム付デジタル商品券において、プレミアム分デジタルポイント2千円を付与することで、地域内の消費の下支えに寄与することができた。 ②プレミアム付デジタル商品券での町内消費が98,698千円となり、うち、7割が大型チェーン店舗であったものの、3割は町内小売店での消費につながった。 ③町内事業者への支援にはつながったが、この事業に係る委託料が大きいため、継続した事業実施は難しい。
11	公共交通機関支援	総合政策課	①②エネルギーをはじめとした物価高騰の影響を受けている公共交通機関に対して、地域公共交通等燃料価格高騰分の支援を行うことで、安定した運営および事業の継続を図る。具体的には鉄道運営会社への支援のため、電気料金高騰分の支援となる。 ③燃料価格高騰対策分として 補助事業に要する経費51,622千円のうち、永平寺町分負担額は4,223千円 うち重点交付金 3,400千円 一般財源 823千円 ④公共交通機関(えちぜん鉄道)	4,223,000	4,223,000	—	3,400,000	823,000	R5.4.1	R6.3.31	①地域公共交通等燃料価格高騰分支援として、鉄道会社であるえちぜん鉄道に対し、電気料金高騰分4,223千円を支援した。 ②コロナ禍の終わり頃であり、また物価高騰が続いているなかで、電車の動力源である電気料金高騰分の支援を行ったことで、安定した鉄道運営に寄与することができた。 ③引き続き、物価高騰が続いていくことが予想されるため、現況を注視し、県や各市町と足並みをそろえたうえで、適宜支援を行っていく必要がある。
12	えちぜん鉄道利用促進通学定期券補助金	総合政策課	①物価高騰が続く中、公共交通機関を利用して通学する学生等に対し、定期券購入費を一部補助し子育て世代の支援を図る。 ②定期券購入費用の20%を補助 ③事業費 年間2,159件に対して、各定期券歳央入費の20%を補助 補助実績額10,327千円 うち重点交付金 4,600千円 一般財源 5,727千円 ④公共交通機関を利用して通学する子育て世帯	10,327,840	10,327,840	—	4,600,000	5,727,840	R5.4.1	R6.3.31	①子育て世代への支援を目的として、公共交通機関を利用して通学する学生等に対し、定期券購入費の20%を補助し、総額10,327千円を支援した。 ②物価高騰が続いているなかで、特にそのおりを受けている子育て世代に対し、子らの定期券購入費の20%を補助することで、少しでも家計に寄与することができた。 ③
合 計				60,164,650	60,164,650	—	52,708,000	7,456,650			

※番号は国へ報告している実施計画のものです。